

2019年2月1日

首都圏地区 図書館&がん相談支援センター
連携ワークショップ

都立中央図書館における 健康・医療情報の提供と、 都内医療機関との連携の可能性

東京都立中央図書館
サービス部情報サービス課
西林里紗

1

本日の発表内容

- 1 都立中央図書館の健康・医療情報サービス
- 2 利用のニーズと都立図書館の対応
- 3 都内医療機関との連携
- 4 今後に向けて

2

都立図書館の概要

都立中央図書館

図書 約206万冊
(公立図書館では最大級)
医療の他、法律、ビジネス、
都市・東京に関する
情報サービスを重点的に提供

都立多摩図書館

雑誌 約1万9千誌
児童青少年資料 約23万4千冊
「東京マガジンバンク」
「児童・青少年資料サービス」
の2本柱でサービスを提供

3

1 都立中央図書館の健康・医療情報サービス

平成16年6月26日
4階に「医療情報コーナー」開設
平成17年6月16日
「闘病記文庫」設置
平成18年度
コーナー名を「健康・医療情報コーナー」に変更
平成21年1月
中央図書館リニューアルオープンにより1階に移設

4

2 利用のニーズと都立図書館の対応

(1) 健康・医療情報に対するニーズ

- ・インフォームド・コンセントの導入等により、健康や病気に対して患者自身の意思が尊重されるようになった
- ・患者自身が病気への正しい理解と治療方針の自己判断が求められる



一般市民が適切な判断を下すために、健康・医療に関する正しい情報が必要

5

「健康と保健医療に関する世論調査」

東京都生活文化局 平成28年10月実施

(<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/03/07/01.html>)

- ◎ 保健や医療の情報の充足度
『足りている』48%、一方で『足りていない』34%
- ◎ 関心のある保健医療問題
①生活習慣病(43%) ②高齢者の医療・介護制度(36%)
③医療費(34%)
- ◎ 日頃、保健や医療に関する情報を得ているメディア
①テレビ(78%) ②インターネット(含SNS 5%) (50.2%)
③友人・知人から(41.8%) ⑦本(10.2%)
⑨公的な相談機関(5.5%)

平成23年「スポーツ・運動と保健医療に関する世論調査」と比較すると、インターネットから情報を得ていると答えた人は11ポイント増加

➡ 必要としている人に信頼できる情報を届ける
信頼できる情報を見極める手助けをする

6

(2) 公共図書館における 健康・医療情報サービス

ア 「公共図書館」としての役割
公共図書館は、地域住民すべてに、一般的な図書館サービスを無料で提供する図書館である。
(『図書館ハンドブック』第6版補訂2版 2016.9)

イ 利用者のご質問をお受けして、その情報が掲載されている資料・情報をご紹介する「レファレンス・サービス」
医学の分類に留まらない
あらゆる情報へのナビゲーション支援の場

利用者が求める情報へのナビゲートの他、相談機関や専門図書館などをご紹介することもできる。

7

(2) 公共図書館における 健康・医療情報サービス

ウ 都民が求める健康・医療情報
①休日・夜間の診療体制や救急医療機関(49.5%)
②病気の症状や予防・治療(45.4%)
③どこにどのような医療機関があるか(39.9%)
④薬の効能、副作用や服用方法(23.2%)
⑤健康保険や医療費の制度について(18.8%)
「健康と保健医療に関する世論調査」東京都生活文化局 平成28年10月

8

『医療情報サービスに関する職員対応指針』 (16中図サ情第74号 平成16年6月23日決定)

内容を要約すると…

1. 資料や情報の提供のみを行う。
2. 診断、治療、薬についてのアドバイスはしない。
3. 利用者のプライバシーを守る。

9

3 都内医療機関との連携

3-1 出張展示

東京都立広尾病院、東京都立墨東病院、
東京医科歯科大学

3-2 出張セミナー

日本赤十字病院がん相談支援センター

3-3 出張展示・出張セミナーの利点

10

3-1 出張展示

平成29年9月から、近隣病院のイベントと合同で出張展示を実施

- 東京都立広尾病院
平成29年9月～
- 東京都立墨東病院オレンジバルーンプロジェクトin墨東
平成30年10月9日～11日
- 東京医科歯科大学市民公開講座
平成31年1月13日

11

● 東京都立広尾病院

平成29年9月～

公開講座の際、テーマに合った本を展示（年8回程度）



12

- 東京都立墨東病院オレンジバルーンプロジェクトin墨東
平成30年10月9日～11日
がんや緩和ケアに関する本を展示



13

- 東京医科歯科大学市民公開講座
第5回「がんを考える」市民公開講座
平成31年1月13日
がん相談支援センターと共同ブース
「がん治療とQOL」という
テーマに合わせ、がんや
QOLに関する資料を
展示



14

3-2 出張セミナー

日本赤十字病院がん相談支援センターでは、がんの治療を受けている患者やその家族を対象に、がん患者学セミナーやおしゃべりサロンを月1回程度実施

内容は音楽療法やがんに関する医療情報の解説など



平成29年11月と平成30年10月の回に、都立中央図書館職員が講師を務め、がん情報の調べ方と図書館活用についてセミナーを行った

15

第1回出張セミナー

日 時 平成29年11月28日（火）
午後2時から午後2時45分まで

テ マ 図書館員が教えるがん情報の調べ方

来場者数 15名

都立図書館の健康医療情報、レファレンスサービスについて説明した。図書館における資料の探し方や、がん情報の調査に役立つ資料やホームページを、資料を実際に見せながら紹介した。

講義後のアンケートでは「役立つ」「大いに役立つ」合わせて92%

16

第2回出張セミナー

日 時 平成30年10月22日（月）
午後2時から午後2時45分まで

テ ー マ 図書館員が教えるがん情報の調べ方と図書館活用

来場者数 6名

参加者がよりわかりやすい・役に立つ情報を得られるよう、講義の
ところどころでがん相談支援センターの職員に「ガイドラインとはどのよ
うなものか」など質問を投げかけながら進行した。

講義後のアンケートでは「役立つ」「大いに役立つ」合わせて100%
少人数の参加だったが、質問が多く、関心の高さがうかがえた。

17

3-3 出張展示・出張セミナーの利点

- ・図書館を利用していない方、レファレンスサービスを知らない方に
図書館サービスを知ってもらう機会になる
- ・病院に行くことで、病院のサービスや現状を直接知ることができる
- ・（出張セミナー）図書館とがん相談支援センター双方の知識や
サービス内容を合わせて提供することで、参加者への幅広い
情報提供が可能になる

18

4 今後に向けて

図書館とがん相談支援センター双方の知識や
サービス内容を合わせた利用者・患者支援

まずはお互いに、何をやっているか、
何ができるか知ること。
情報を共有したり、イベントで協力
したりする中で、見えてくるものがある。

19

ご清聴ありがとうございました。

都立図書館
調べもの相談（レファレンス）のページ
[https://www.library.metro.tokyo.jp/search/service/reference/
application/index.html](https://www.library.metro.tokyo.jp/search/service/reference/application/index.html)
都内公共図書館からの協力レファレンス受付（要ログイン）
<https://www.library.metro.tokyo.jp/exclusive/>

20